

いいむろそう
1. 飯室層 の かせき
化石

向山崇久(多摩川流域自然史研究会)



1. フスマガイ



2. オオスダレガイ

細砂
10~160m
北 25° ~35°



3. リュウグウハゴロモガイ



4. タイラギ



5. アラスジソデガイ



7. トウキョウホタテガイ



6. キララガイ



8. マガキ



9. クルテルスの仲間



はば
幅4.5 cm

10. ソリタママキガイ



はば
幅1.8 cm

11. クロマルフミガイ



幅 2.3 cm

12. マルヒナガイ



幅 3.5 cm

13. ベンケイガイ



幅 1.9 cm

14. ツキガイモドキ



はば
幅5.0 cm

1. エゾヌノメガイ



幅 7.5 cm

2. ウバガイ



幅 2.1 cm

3. カラスノマクラガイ



幅 1.9 cm

4. ベッコウキララガイ



5. アカニシ



6. クリロカメガイ



7. キサゴとゴカイ(やじるし)の仲間 なかま



8. マガキと
タマキビガイ (やじるし)



はば
幅1.0 cm

9. ホソエゾ
キリガイダマシ



幅 2.1 cm

10. モモエボラ



11. ツメタガイ



幅 6 mm

12. トウイトガイ



はば
幅7 mm

13. ハナムシロ
ガイ



14. オニフジツボ 幅 2.3cm



15. エゴノキ(たね)



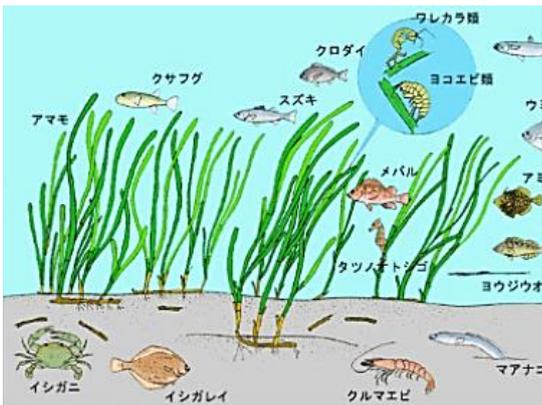
16. ムカシブンブク 幅 6.5cm



1. アマモの仲間 (いんしょう化石)



2. (上) エンコウガニのこうら と(下) 足



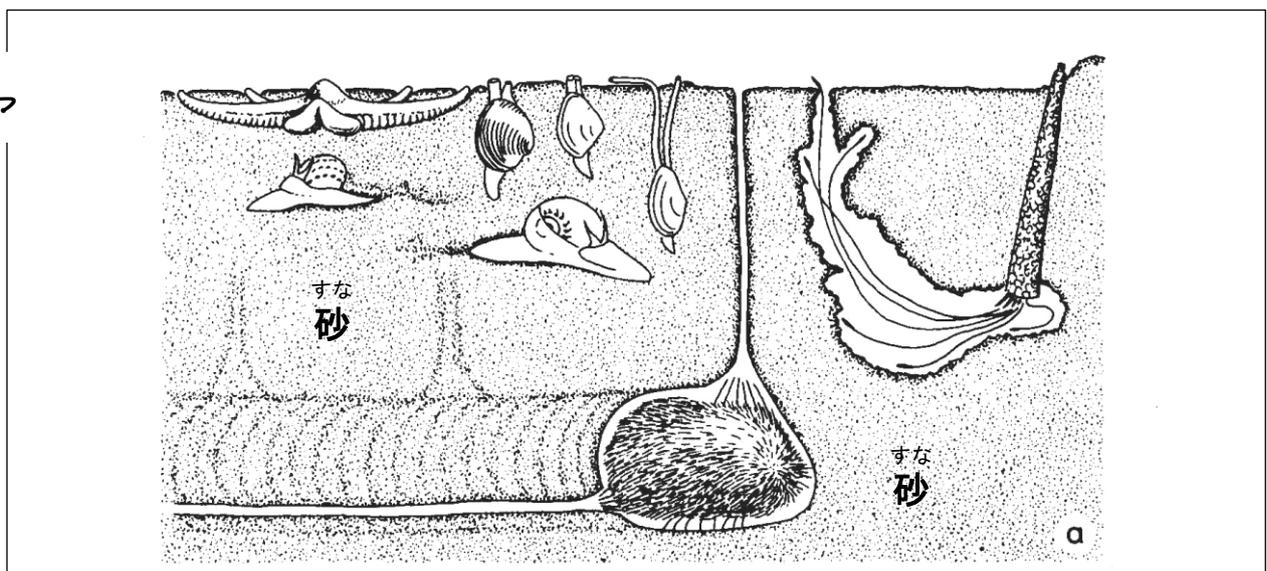
600x412 - 71.4kB - アマモ場で見られる生物[はとう...
http://www.env.go.jp/water/heisa/heisa_net/setouch...

3. アマモのはえているようす (ウェブから)

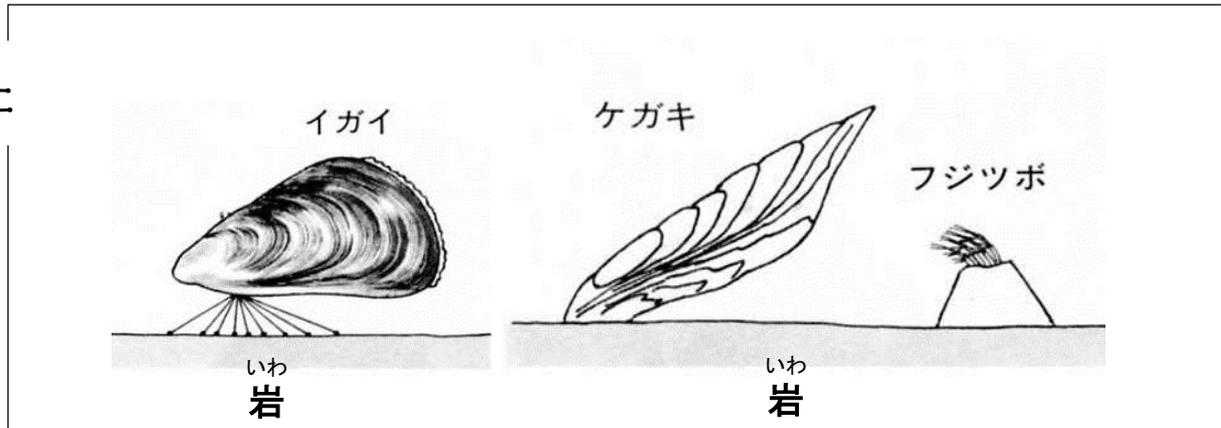
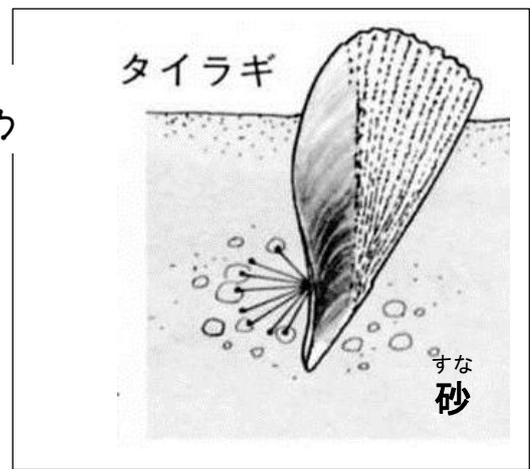
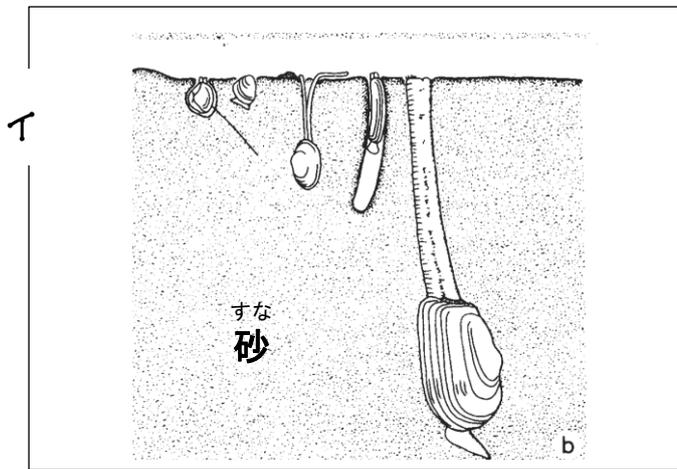


4. 今の海にいるエンコウガニ (メス ウェブから)

2. カイやウニなどの生活のようす



資料文献「飯室層の化石」川崎市青少年科学館 (2001)、 「生痕化石」大森監修 (1993)
 「貝と水の生物」旺文社エディタ (1997)



3. だいじなこと

ア、ほりかた はこびかた ほかん

- 1) 化石から3cm以上 はなして 先のとがったものでまわりからほる。
- 2) ガンガン 力を入れてほらない。ゆっくりほる。
- 3) あつめの やわらかいものにくるんで持ち帰る。
- 4) ぜったい しんちょうに 化石のひょうめんをきれいにする。
- 5) ボンドのうすめえきを ふでに ふくませ 化石に しずかにしみこませる。
(うすめえきはボンド3に 水7ぐらいのわりあい で かきませる)

イ、名前をしる となにができる？

- 1) 今の生き物と比べることができる。
- 2) 今の生き物がどんなところで生きているかしらべることができる。
- 3) 化石になった生き物がどんなところに生きていたかわかる。

ウ、しらべかた

- 1) 化石をよく見て、ずかんなどでしらべてみる。
- 2) 今の生き物のずかんでしらべるとわかることが多い。
- 3) わからないときは ほかの ずかんでしらべる。
- 4) はくぶつかんなどで 教えてくれることがある。
- 5) さいしゅう場所、さいしゅう日、名前などのメモをそばに置いておこう。